

事務事業名		老朽化し危険な空き家対策事業		会計	一般会計	実施区分					
H28担当課等名		地域計画課	H28係等名	建築指導係	H27係等名	建築指導係	事業種別	政策	開始	24	終了
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり							
		施策	83	計画的な空間利用の推進							
目的	対象(誰・何を)	老朽化し危険な空き家						対象指標	指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	所有者による適正な管理を行う							飯田市の空き家数(棟) (H25統計推計値)		6590
	向上させたい上位施策の成果指標	地区の計画等が策定された地域数							危険な空き家数(棟)		100
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	指導等に基づき除却・安全対策された空き家数(累計数)				15	15	20	20		
	成果指標	建物の適正管理がなされた空き家数(累計数)				10	9	10	10		
	定性目標										
事業概要	<p>高齢化や人口減少等の要因により全国的に空き家数が増加傾向にあり、特に老朽化し危険な空き家については社会問題化してきている。市内においても市政懇談会、一般質問などで安全安心の観点より対策が求められてきていることから、老朽化し危険な空き家の状況について把握を行うと共に、地域の計画等に基づく魅力ある景観の形成や適正な土地利用の推進に向けて、所有者への対策依頼を行うことにより、対象となる建物の除却や土地を含めた適正管理の推進を図る。</p>										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 市内の廃屋について所有者への適正管理に向けた指導					1 指導の実施			1 8件		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		412	570	504	444	(そ)ふるさと寄附金					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他				10							
一般財源		412	570	494	444						
人件費計(千円)②		2,754		2,432							
正規職員所要時間		770		680							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		3,166	570	2,936	444						
事業内容・目標達成状況の振り返り		老朽化し危険な空き家の把握を行うため、実態調査を行った。また、特に危険な空き家について所有者への指導を行った。総合的な空き家対策を進めるため、空き家対策計画を策定した。									
改革改善の考え方	①問題点	総合的な空家等対策の推進に関して空き家対策計画に基づく空き家化の予防と活用について具体的な推進を行う必要がある									
	②改革提案	ムトスまちづくり課と連携して進める									